

読売歌壇

小池 光選

こぼれ落ちそうで落ちないセザンヌの林檎は一〇〇年以上がやく 名古屋市 山守 美紀

【評】すばらしいセザンヌの静物画。好んで机に置かれた果物を描く。林檎がひとついまでも画面から転げ落ちそう。しかし落ちない、永遠に落ちない。名品の名品たるゆえん。寝転びて見ていられず正座する佐々木朗希がマウンドに立つ 船橋市 山崎三千子

【評】この前のMLB中継。ドジャースの三人の日本人選手の活躍はみごと。寝転んで観戦していたが、いよいよの局面になって思わず正座してしまった。その心境わかるなあ。図書館の和室にごろんと横になり老いはおもむろに体操はじむ 鹿嶋市 大熊佳世子

【評】図書館にはいたいていし和室が作られている。幼児を連れてお母さんなどが利用。ところが今日はおいじさんが体操。おもしろい。車の下で鳴きいる子猫手に持てば有るか無きかの重なりけり 狭山市 奥蘭 道昭

私より四十年若い夫がいて仏壇の中は華やいて入社して一週間が過ぎました汽車の車窓の朝焼けの空 町田市 岩本 房子

長生きをしてすまないと臥す父はいまはのきはいつきり言ひき 匝瑳市 椎名 昭雄
秋晴れの丘ベッドより見上ぐれば青春映画の自転車隊ゆく 垂水市 岩元 秀人
初めから障子に破れのある部屋のやうな気安さ古き友とは 鎌倉市 島山 翠子
三万の初任給得ておふくろに下駄一足を買いし帰宅路 横須賀市 小林 一徳

栗木 京子選

母に似る節高き指は母ほどに辛き涙をぬぐわず 八十路 兵庫県 和泉 純子

【評】母の苦難の日々を支えてきた節の高い指。その指を受け継いだ作者は、母と自分の人生を重ねてみたのだ。一人の女性としての母への慈しみ、そして感謝が伝わる。ハロウィンが過ぎて値引きの菓子集めやっとなる子ども食堂 群馬県 金子 歩美

【評】物価高で子ども食堂の運営は大変である。ハロウィン向けのパッケージの菓子は、イベントが過ぎて値引きされてからでないと買えない。「やっとなる」が切ない。この国で米を買いぬ日來よつとは五円硬貨の稲穂も涙 青森県 林 幸子

【評】五円硬貨には、たわなに実った稲穂が描かれている。米は日本の食の象徴なのに価格高騰や品不足が続く。結句が重い。晩秋の季節はずれの花オクラ一日限りの大輪眩し 朝霞市 橋本 友子

世の愁ひなべて己に負ふときプラムス聴く夜の落葉深し 静岡県 半田 豊
孫にきいた十七歳の結婚観「産まないかも」と押す降車ボタン 熊本市 甲賀 亨子

風だったものをゆっくり受けてとめて秋の中島みゆきはやさし 京都市 袴田 朱夏
コロナ禍以後マスクを取らぬ医師の顔忘れしまに閉院となる 稲城市 山口 佳紀
欲しければ飲んでいいよと冷水器 粋な歯科医院へ立ち寄る児童 美濃加茂市 近藤 祐司
上山祭りの広場を埋めつくす案山子を見ればつわもの並ぶ 山形市 柏屋 敏秋

俵 万智選

言葉ならしづかに交はすカフェラテのハートくづさぬ土曜日の朝 東京都 浅倉 修

【評】静かに言葉交わすこと、ラテアートに描かれたハートを崩さぬように飲むこと。その二つの重ね合わせが巧みだ。互いに比喩のように響き合って美しい。強引に割り込んでくるクラウンのやうにLINEを覗く上司ぞ 小諸市 藤 雪陽

【評】クラウンは、高級感がありつつも堅苦しいイメージだろうか。上司の比喩として、強引な振る舞いまでを生かしたところが工夫だ。目と鼻を正しい位置に押しやりぬじわじわずれてきたるパツクに 大和郡山市 大津 穂波

【評】覆面レスラーのような顔のパツク。実際は、パツクの位置を直しているのだが、実感を捉えた上の句が面白い。伍詰の桃のきいろがうそみたい 言葉でひとを遠ざけた日は 加古川市 石村 まい

裸樹の寒々しさを電飾で彩るようにきみと生き抜く 東京都 遠野 鈴
子どもがあらわて去った公園のブランコだけが揺れる夕暮れ 岡崎市 三上 正

いないいないばあもできるね居るだけがちゃんとうれしいままの一歳 朝霞市 桐島 あお
東京の雲ひとつない冬空が好きと言う母の故郷は秋田 東京都 新美喜代男
心配のかたちをとれる励ましとおもふ休職勧められぬ 八王子市 土屋ひろ菜
グリコする子どもの横で後出しのパイナップルで駆けてく僕ら 東京都 吉田 敦史

黒瀬 珂瀾選

「お二人のような夫婦を目指します」婿殿それはどうかと思う 草加市 飛田 一三

【評】それだけ婿殿には、お二人が理想の夫婦に見えるのでしょう。今のところは、真実は言わぬが花。おいおい、互いに現状や悩みを話し合える関係になればいいですね。母さんの近くに熊が出たららしい朝 番の娘のメール 防府市 梁瀬 則子

【評】朝のニュースを見て心配になった娘さんの真心。しかし僕も北陸住まいですが、近所との会話は熊の話ばかり。社会状況に応じて、声かけのきっかけも変容するのです。水飲めば甘露のようだと笑みし父亡くなる前のつぶやき静か 春日部市 神田大二郎

【評】図らずもこれが末期の水となったのでしょうか。その小さな呟きを思い返しつつ、死者との別れを強く思うのです。感慨も安堵もなくただ眠るわが母親に手を合わせたり 長岡市 小野塚博之

加担して頃合いを見て和平説くカードゲームじやないよトランプ 川崎市 福本よしき
他人のものを壊せば逮捕されるけど街を壊すは罪に問われぬ 東京都 椿 泰文

熱量の高き老人集まって夕暮れまでの愉しい将棋 メニュー見つて迷える夫を待つ窓辺雲がふうわり流れてゆけり 千葉県 渡部 健
あえてまだ灯りをつけぬ朝風田の間に聞きおろし 仙台市 小野寺寿子
鵲の声を 富山市 若林 千彰
咲き出せる時こそ花期と裏庭に去年より早く椿咲き初む 京丹後市 鉄林 篤